

教区報

山口

発行／「御同朋の社会をめざす運動」山口教区委員会
編集／広報部

No. 219

2020(令和2)年
10月

CONTENTS

- 2019(令和元)年度山口教区一般会計
歳計決算並説明
- 「御同朋の社会をめざす運動」(実践運動)
山口教区総合基本計画
- 山口教区実践運動研修会
- 第40回千鳥ヶ淵全戦没者追悼法要
映画を通じ非戦・平和を学ぶ会
- 別院報恩講案内
- 別院・教区行事予定



令和2年7月豪雨 本願寺人吉別院(熊本)へ防府海北園から支援物資のお届け

第2回臨時教区会開催

去る7月21日(火)に、別院本堂において、2020(令和2)年度第2回臨時教区会(八木静也議長)が開催され、提出された財務承認議案・財務議決議案は、原案通り可決されました。議案は次の通り。

【財務承認議案】

2019(令和元)年度一般会計歳計決算、特別会計歳計決算(寺院災害見舞金会計、伝道車購入積立金会計、平衡資金会計、子ども・若者ご縁づくり推進費会計)

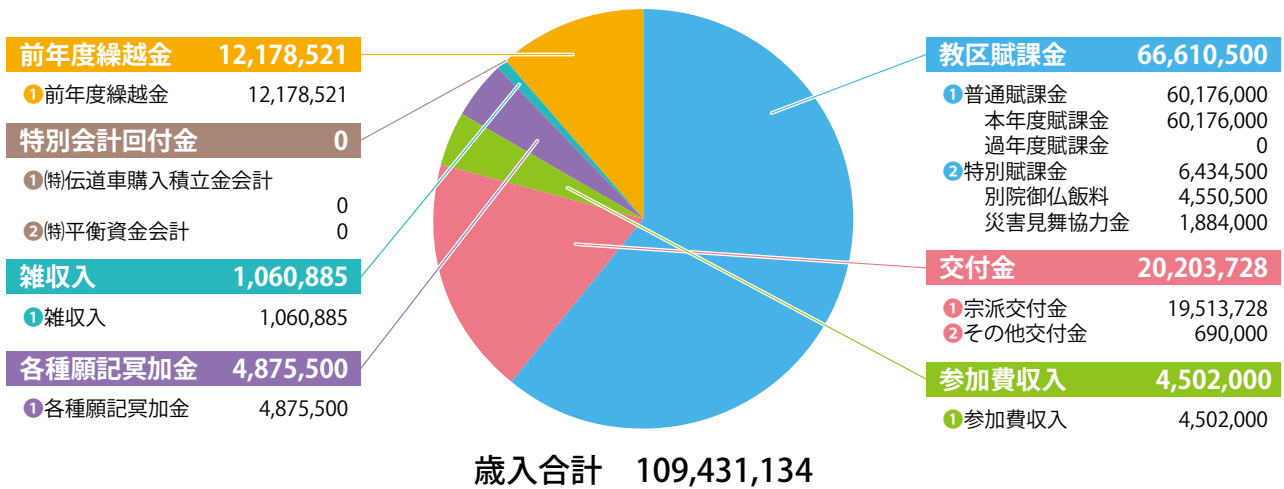
【財務議決議案】

2020(令和2)年度一般会計歳計予算補正案、特別会計歳計予算補正案(平衡資金会計)

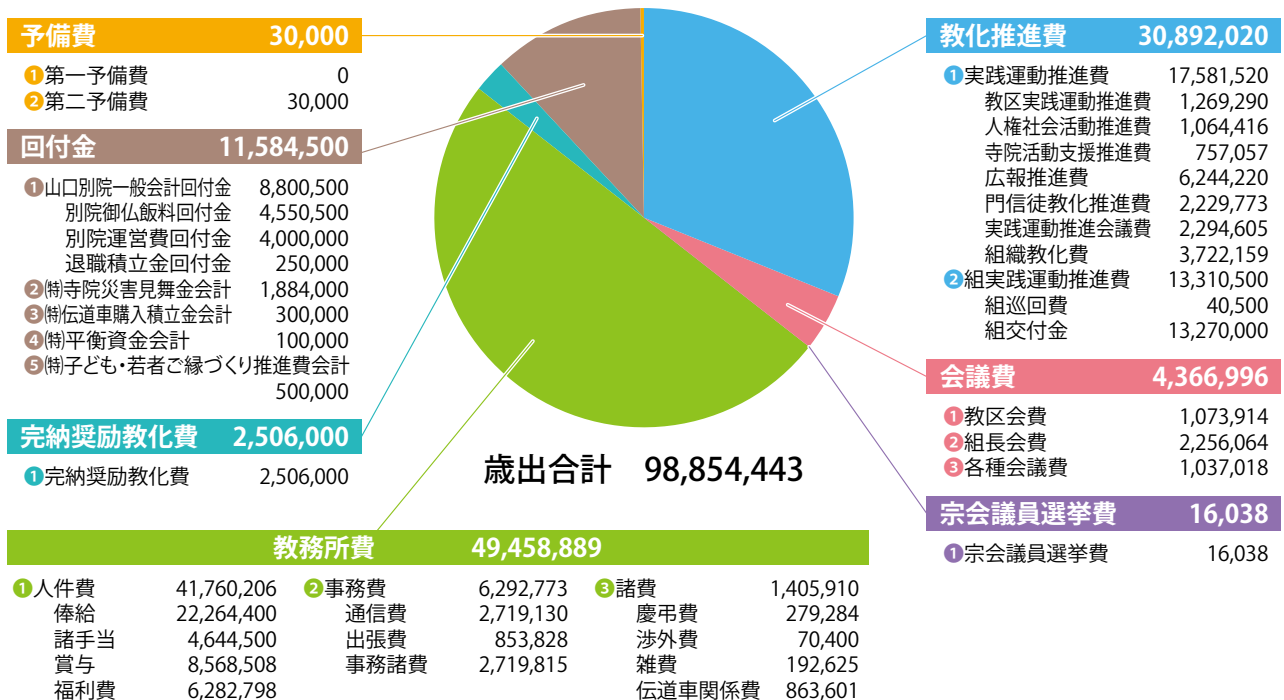
2019(令和元)年度 山口教区一般会計歳計決算並説明

自2019(平成31)年4月1日 至2020(令和2)年3月31日

歳入の部 (単位:円)



歳出の部 (単位:円)



～結ぶ絆から、広がるご縁へ～

「御同朋の社会をめざす運動」(実践運動) 山口教区総合基本計画

推進期間：2020年度～2023年度(4年間)

スローガン

結ぶ絆から、広がるご縁へ

実践目標《重点プロジェクト》

(1) 貧困の克服に向けて ～ Dāna for World Peace ～

—子どもたちを育むために—

※宗門全体の実践目標

(2) 部落差別をはじめとする人権問題への学びを深める

—山口教区内差別はがき投書事件を通じて—

※教区独自の実践目標

基本理念

宗祖親鸞聖人は、災害と戦乱の混迷の時代に真実を求めて生き抜かれ、苦悩する人々と共に「御同朋・御同行」のお心でお念仏のみ教えを広く伝えていかれました。

そのみ教えをいただかれた先人たちは自らが教えを聞き、教えに生きる僧侶・門信徒としてともに支え合いながら、喜び・楽しみ・苦しみ・悲しみの世界を生き抜いていこうと努められ、1986(昭和61)年、「御同朋の社会をめざして」を目標に掲げ、教団が抱える課題克服のため、基幹運動が起ちあがりました。

そして2012(平成24)年度からこれまでの成果をもとに、お念仏のみ教えをさらに宗門内外に広く伝え、従来の枠組みを超えた多様な活動をより広く実践していくことをめざし、「御同朋の社会をめざす運動」(実践運動)と運動名称を改め、活動してまいりました。

先の伝灯奉告法要でご門主さまより、ご親教「念仏者の生き方」並びに「伝灯奉告法要御満座の消息」において、「慶讃のご法要に向けたこれからの生活においても、私たち一人ひとりが真実信心をいただき、お慈悲の有り難さ尊さを人々に正しくわかりやすくお伝えすることが基本です。そして同時に、仏さまのような執われのない完全に清らかな行いはできなくても、それぞれの場で念仏者の生き方を目指し、精一杯努めさせていただくことが大切です。み教えに生かされ、み教えをひろめ、さらに自他ともに心安らぐ社会を実現するため、これからも共々に精進させていただきます。」とお示しくされました。

このお心を受け止め、宗門全体の具体的な取り組みの一つとして2018(平成30)年度から社会や私たちを取り巻く様々な問題の克服に向け「貧困の克服に向けて～Dāna for World Peace～—子どもたちを育むために—」が実践目標に掲げられました。

また2017(平成29)年に山口教区で発生した差別はがき投書事件を契機に「部落差別をはじめとする人権問題への学びを深める—差別はがき投書事件を通じて—」を教区独自の実践目標と定め、人権への学びの継承と現在生ずるあらゆる差別の克服に向けた取り組みを推進してきました。

私たちはこれらの課題克服に向け、取り組みを継続するとともに、「御同朋の社会をめざす運動」(実践運動)が私たち一人ひとりの運動として、今後も大きく変化する時代や人々の意識に応じた取り組みのあり方を思いつつ、さらに展開していきましょう。

「御同朋の社会をめざす運動」山口教区委員会 副委員長就任挨拶



厚狭西組 願生寺 山名真達

去る6月30日開催の実践運動委員会において、副委員長の職を拝命いたしました。

平成24年に、それまでの基幹運動の成果と課題を踏まえ、さらなる活動の発展を期すべく、実践運動は、宗門全体の活動を推進してゆくうえで大変重要なものです。当運動の前身である基幹運動の門信徒運動は、勝如上人の「名ばかりの門徒、形だけの僧侶、慣習のみでつながっている寺檀関係」という厳しいご指摘から始まりました。それから60年近くが経ちますが、現状はまだまだ問題が山積しています。近年急速に進んでいる少子高齢化、過疎化、グローバル化に加え、今年は新型コロナウイルス禍と、社会問題はより複雑化しています。従来の寺院活動は縮小傾向にあり、多くの方がたから現状と将来的な見通しに対する不安の声を聞きます。

このような状況なればこそ、「念仏のみぞまことにておはします」と、力強く歩まれた親鸞聖人お示しのみ教えを、広く伝えてゆかねばならないと思います。これまでの浄土真宗の伝統的な伝道を継承しつつ、時代に即した新たな情報発信をしてゆく、宗門の基幹となる運動が実践運動です。

もとより浅学にして非才なる私でございますが、常に初心を忘れることなく、ご諸賢方のご指導を仰ぎ、正法弘通となるべき運動の推進に精進いたします。どうぞよろしくお願い申し上げます。



下関組 願久寺 田中博明

宗門の「御同朋の社会をめざす運動」(実践運動)も4期目に入りました。この度このような大役を拝するに、第1期から第3期までの役員さまや委員会の取り組みを踏まえ、皆さまのご助言、ご協力を仰ぎ任事を務めてまいりたいと存じます。実践運動

委員会専門部会では「広報部」「門信徒教化部」を担当させていただきます。新型コロナウイルスの収束の見込みもつかないまま秋を迎えましたが、「コロナ禍」といわれ、生活や意識は一変しました。学び舎で授業が受けられない児童や学生。仕事が減ったり職を失ったりする大人たち。より一層不安を抱える高齢者。また、そんな中で、感染拡大防止に向けて立ち向かってくださっている医療従事者の方がたの負担も計り知れません。

各寺院におかれましては、近親者のみでのご葬儀やご法事の延期、ご法座も日程や時間の短縮、休止を余儀なくされている状況で戸惑うばかりです。なかなか集うことのできない環境でございますが、第8代ご門主蓮如上人は「一宗の繁昌と申すは、人のおほくあつまり、威のおほきなることにてはなく候ふ。一人なりとも、人の信をとるが、一宗の繁昌に候ふ。」(蓮如上人御一代記聞書)とお教えくださっています。

私を自当てる南無阿弥陀仏であり、すべてのいのちは南無阿弥陀仏に抱かれているとよるごばせをいただく中、何をすることも困難な状況ですが、今できる最大限を「結ぶ絆から、広がるご縁へ」というスローガンのもと、目標達成に向けて推し進めてまいりたいと存じます。「広報部」ではみ教えと重点目標を効果的に発信し、「門信徒教化部」では組連研開催に向けての情報収集や協力、門徒推進員や各教化団体との連携に努めてまいります。宜しくお願い申し上げます。

山口教区子ども・若者ご縁づくり推進委員会
副委員長 藤岡真治(宇部小野田組照明寺) 挨拶



去る8月28日の委員会にてご承認いただき、副委員長を委嘱されました。前任の藤本副委員長のご苦勞を考えると身の引き締まる思いでございます。2022年2月「スクール・ナランダ」が山口で開催されます。これを成功させることが私の責務ではないかと感じております。皆さまのお力添えをいただきながら、山口ならではの内容を企画してまいりたいと存じます。

さて、子ども若者ご縁づくりは「あらゆる人々に阿弥陀如来の智慧と慈悲を伝え、もって自他共に心豊かに生きることのできる社会の実現に貢献する」ことを目的とします。ご縁ある大人が、子ども若者と接点を持ち、阿弥陀さまのご縁に遇う人となることを目指します。お寺が心の居場所となるよう子ども層へのご縁づくり、ご縁のある子ども若者層からご縁を広める方途を探していく。まずは「ご縁のはじまりをつくる」ことから始めていかなければなりません。

以前、少年連盟の研修で、新潟教区三条組 長念寺ご住職の山之内浩乗先生からお話をお聞かせいただきました。先生は、教化活動の全くなかった同寺に迎えられ、壮年会から子ども会を始められ、今では7つの教化団体を作られました。「参加者が人を誘う」その流れを作ることが大事だと感じました。30年の教化活動の中で「家族礼拝が一番大切。みんなで礼拝することが次世代へつながる大事な第一歩なのだ」と話されたことが私の教化活動の原動力になっています。

お寺のための子ども若者ご縁づくりではなく、子どもや若者にとって「手を合わせお念仏申す」ことが大事だからという思いの中で、「ご縁のはじまりをつくる」お手伝いをしていきたいと考えております。これから各教化団体との連携を深め、皆さま方のご協力をいただきながら活動してまいります。何卒ご支援賜りますようお願い申しあげ就任のご挨拶とさせていただきます。

対応要綱にもとづく専門委員会
会長 西谷新一郎(豊浦西組西方寺) 挨拶



このたび、「対応要綱にもとづく専門委員会」会長を拝命いたしました。周知の通り2017年に、山口教区某寺院に意図的に人権を貶める内容のしがきが届き、教区実践運動委員会是对応要綱を作成しました。

2018年から2か年、教区重点プロジェクトの目標に人権問題(特に部落差別に関すること)を掲げ、各組に対処要綱を基軸とした人権啓発僧侶研修会や同朋運動研修会の実施を呼びかけてまいりました。僧侶研修会については開催率91%でしたが、同朋運動研修会に関しては開催率36%に留まっています。

事件当時、人権社会部員だった私は山口で起こったことに驚きを隠せませんでした。しかしそれが、私自身、部落差別を対岸の出来事としか受け止めていなかったことを如実に物語っています。皮肉にも、事件が差別問題の認識を再考する機縁となりました。

このままでは部落差別についての歴史と現状の不認識から、いつまでも他人事であると受け止められ、過ちは繰り返され、**私自身の差別・被差別からの解放は困難**と思われれます。

そのために、過去から取り組みを継承し次世代へと伝えていく人材を、組レベルで育成するプログラムを企画し、教材を整備することを目的に立ちあげたのが当委員会です。

この委員会の活動が、親鸞聖人の御同朋・御同行の精神を改めて味わい、実践していくための一助となれば幸いです。



人権社会部

大津東組 光浄寺 小内良文

人権社会部は教区実践運動の4つの部会の中で、み教えを呈した活動を最も求められる部会ではないかと思えます。しかし本年度は、新型コロナウイルスのため例年通りとはまいません。そこでウェブ中継などを活用した新たな運動の展開を模索していきたいと思えます。とはいえ、これは人権社会部だけでは力不足の所もありますので、他の部署のお力も借りて助めていきたいと思えます。

とくに教区同朋研修会ですが、別院での研修会の様子を、ウェブ中継で教区内複数の寺院に協力を募り、配信してみたいと考えています。これが軌道に乗れば、別院から遠く研修会に参加が難しかった方がたの、参加促進につながるのではと考えています。また、研修会の内容によっては、広く一般の方にも周知しスマホやタブレット端末などで視聴できるようにすることも視野に入れております。

千鳥ヶ淵全戦没者追悼法要については、すでにご存じかと思いますが、現地とのウェブ中継で別院にて法要を行い、合わせて宗派が作成いたしました映画「沖繩戦」を視聴いたしました。また前任からの引き継ぎで、男女共同参画に対するアンケートのとりまとめも進め、組同朋研修会開催の促進としては、各組の実践例を集め、開催に当たったの参考資料を作りたいと考えています。

コロナによりスタートが遅れ、ようやく人権社会部の活動内容を把握したところです。微力ではありますが、実りある活動になるよう力を尽くしたいと思います。



寺院活動支援部

白滝組 妙久寺 岡 智徳

このたび、寺院活動支援部部長をお引き受けすることとなり、身の引き締まる思いです。部員の皆さまと共に寺院活動の活性化に力を注いでいきたいと思えます。具体的な活動内容としては、①寺院活動支援のための研修会の企画・開催 ②寺院活動支援および人権啓発のための教材作成・企画 ③寺院振興法座の奨励 ④福祉募金の協力依頼や福祉車両の進呈、法語カレンダーの福祉施設への贈呈等を継続して行います。

また、コロナ禍の現状を鑑み、今後を見据えた新たな対応策を検討していく必要があります。新型コロナウイルス感染症拡大を受けて、寺院を取り巻く環境も厳しさを増しています。3密を避けるといふ制約の中で、本来あるべき寺院活動も難しく、心配ともどかさのなかに教化活動のあり方を日々模索されておられることでしょうか。残念ながら法座の短縮・中止を余儀なくされ、法事や葬儀のあり方も大きく変わっております。その中で、寺院活動支援部として新たに何が出来るかを検討し、ほかの団体や部とも連携して、「IT機器を利用した会議のリモート化」に向けて取り組むこととしました。さらに、「災害ボランティアのネットワーク作り」と、早期に「感染拡大に伴う寺院活動影響調査」をアンケート形式により実施し、様々な情報や問題意識を共有するとともに、各寺院においての活動や対策に活用していただき、調査に関連した研修会を企画したいと考えています。

各寺院の皆さまにもご協力をお願いすることもありますが、任を果たすべく精一杯つとめていきたいと思えます。よろしくお願いたします。

「御同朋の社会をめざす運動」山口教区委員会

各部長挨拶並びに各部署活動方針



広報部
邦西組 善照寺 百濟高昌

今般のコロナ禍で、宗門は「新型コロナウイルス感染症対策と宗務に関する企画推進会議」の所掌事項に、「テレワーク、ウェブ会議等IT導入の点検と可能性の模索」を掲げており、山口教区広報部におきましても様々な分野においてのITの導入と、ウェブコンテンツの充足化を実施、検討しています。

教区報の編集発行、ホームページの更新、FaceBookでの情報公開、新聞折込広告の発行準備、フォトコンテンツの開催準備などこれまででの活動に加え、9月の常例法座ではYouTubeでの法要のテロ配信を行い、今後に向けての意見交換を行いました。

部内においては以前より行なってきたLINEでの事前会議や情報共有に加え、ZOOMでのテレビ会議を積極的に活用し、目的の達成のみならず交通費、宿泊費などの経費削減にも寄与しています。

また、9月3日に開催された「御同朋の社会をめざす運動」第2回常任委員会では、人権社会部よりウェブを使った研修会の配信協力の依頼と、寺院活動支援部より教区内におけるIT機器の普及促進に関しての相談などがあり、各部との連携を強めていくことを確認しました。

このコロナ禍において、各寺院の法要や行事を配信することや、ご法事を遠隔地の親族へとウェブ配信されることは最早珍しいことでは無くなりました。

山口教区広報部における役割の重要性を真摯に受け止め、御法義繁盛の一助となるよう活動してまいります。



門信徒教化部
小月組 明圓寺 明 貴徳

このたび、門信徒教化部の部長を拝命いたしました。

所信表明ということで、ひとこと。大役ではございますが、部員の方がたにお支えをいただきながら、このご縁を大切に、一生懸命努めさせていただきます。よろしくお願いいたします。

この部会は、連続研修会に関する事項が主だと思っています。「御同朋の社会をめざす運動」に積極的に取り組んでいただく門徒推進委員を誕生させていくための、ご縁づくり部会だと。私の所属は、小月組ですが、小月組また教区全体の門徒推進員が増え、各寺院の教化活動が盛り上がってくださることを願っています。

しかし新型コロナウイルスの世界的な流行に伴い、寺院でのご法座や組連続研修会の開催が困難となり、休止されているという話も多く聞かれています。このような状況ではありますが、教化活動再開に向けた前向きな提案ができますよう部員一同取り組んでいるところです。

また、当部会には各教化団体の代表者にも所属していただいています。各団体が連携・協力することによって、課題の克服や新たな取り組みの機縁になると思われれます。それがまた教区全体の御法義繁盛につながりますことを願っています。

すべてのご縁を深めさせていただくために、どうか皆さま、今後ともお支えとご協力をよろしくお願い申し上げます。

南無阿弥陀仏

山口教区実践運動研修会

9月15日(火)開催



講師：加藤 一英 氏

4月より「御同朋の社会をめざす運動」(実践運動)が第4期推進期間となり、教区委員会も新たな顔触れでスタートしました。そこで今年度の研修会は、今一度実践運動についての学びを深め、意識を高めることを目的に、御講師に元実践運動中央委員会委員長の加藤一英氏(安芸教区宗会議員)をお招きし開催しました。

「今、自分にできることから」をテーマに御講師が話されたのは、第3期から第4期に推進期間が移行しましたが、宗門の実践目標「貧困の克服」は変更されなかったということです。つまりは現在

世界が抱えている差別などの諸問題の根幹には「貧困」という大きな課題があると指摘。これを克服するために、それぞれの教区、または寺院で行われている活動を紹介されました。

また、教区の実践目標である「人権問題への学び」についても触れ、「過去を忘却するものは、未来を喪失する」という歴史家の言葉を引用されました。本願寺が過去に犯してしまった部落差別を例に、今私たちが立っている場所、その轍を知らないまま差別について勉強しても、学ぶべき内容の捉え方がおかしな方向へ行ってしまうとの懸念を示されました。

御講師は頻りに「千里の道も一歩から」と仰っていました。役目柄、他の研修会でもこのようなお話をすることが多い中、参加者から「紹介された活動と」同じことをしるというのか」といわれる



協議会の様子

ことがあるそうです。実践運動のように期間が決められている活動は、目に見える結果を求めるがあまり、短絡的な結論に至ってしまいがちです。しかし、現在掲げている目標は恒久的といっているほどの課題の克服です。だからこそ、今自分にできることを考え、一歩踏み出していく。そうすれば二歩目はついてくる。そして、他がやっている活動にケチをつけたり、優劣をつけたりせず「ほめる教化」を推進していくことが肝要ではないかと話されました。

講義の後には、教区実践運動の今後の展開について協議会が催され、御講師にも助言役として席についていただき、種々意見交換がなされました。

本願寺山口別院テレホン法話 083-973-0111 担当者一覧

期間：2020.10.1～2021.1.31

期日	氏名	期日	氏名
10月 1日～10日	工藤 顕樹	12月 1日～10日	中山 教昭
11日～20日	田坂亜希子	11日～20日	岡村 遵賢
21日～31日	黒瀬 英世	21日～31日	重枝 真紹
11月 1日～10日	佐々木世雄	1月 1日～10日	輪 番
11日～20日	藤本 弘信	11日～20日	厚見 崇
21日～30日	波佐間正弘	21日～31日	寺田 弘信

※上記の青年布教使による各3分の法話が聞けます。諸事情により、順番が変更される場合があります。

第40回千鳥ヶ淵全戦没者追悼法要 Web 参拝

並びに映画を通じて非戦・平和を学ぶ会

9月18日(金)開催

本法要は毎年、戦争によって尊いいのちを失われたすべての方がたを追悼し、悲惨な戦争を再び繰り返してはならないという平和への決意を確認するため、東京都国立千鳥ヶ淵戦没者墓苑にて勤修されています。2020年の法要は、新型コロナウイルス感染の状況に鑑み、関係者のみでお勤めし、各教区に法要の映像を流すこととなり、山口別院では約70名の方がたにご参拝いただきました。法要に先立ち、宗門関係学校から「いのちの尊さ」「非戦・平和の大切さ」をテーマに寄せられた作文から、最優秀作文「世界で一番美しい言葉を」(敬愛中学校 安達千紗さん)「儂いのち」(相愛高等学校 中馬朋香さん)の朗読・表彰式が執り行われています。法要の後、山口別院では「映画



を通じ非戦・平和を学ぶ会」と題し、映画「ドキュメンタリー沖繩戦」知られざる悲しみの記憶」が上映され、その制作に携わった浄土真宗本願寺派総合研究所上級研究員 香川真二氏にお話をいただきました。映画「ドキュメンタリー沖繩戦」知られざる悲しみの記憶」は山口教区教務所にて貸出をしております。組または寺院の研修会にて積極的に上映していただきたいと思っておりますので、ご希望の方は教務所までご連絡ください。

本願寺山口別院『報恩講』

期日 11月25日(水)『帰敬式』…午後1時から
11月26日(木)・27日(金)・28日(土)…午後1時30分から

法要 大師影供作法 (勤式集上巻 P.117)

講師 生土昌行氏 (本願寺派布教使・北豊教区正山寺)

※この度は午後(速夜)のみのお勤めです。お斎の接待はございません。

組別参拝日

[26日]
柳井組、岩国北組、熊毛中組、熊濃組、周南組、山口南組、宇部小野田組、美祢西組、大津西組、豊田組、豊浦西組

[27日]
玖珂西組、熊毛組、下松組、防府組、山口北組、萩組、須佐組、大津東組、白滝組、邦西組、下関組

[28日]
岩国組、美和組、大島組、熊南組、華松組、厚狭西組、宇部北組、美祢東組、阿武組、小月組、豊浦組

※例年と参拝割当日が変更となっておりますのでご注意ください。また新型コロナウイルス感染症予防のため、各組15名を目安に参拝のご依頼をしております。

Web中継も予定しております。詳細は追って別院HPでお知らせいたします。

別院HP ⇨ <https://www.yamaguchibetsuin.net>

別院・教区行事

10月

1日(木)	第1回 第10期浄土真宗勸学寮真宗講座	山口別院
2日(金)	別院常例法座	山口別院
5日(月)	講師/井上龍秀氏(豊浦組常泉寺)	山口別院
12日(月)	オンライン法要・法事研修講座(若朋会第2回例会)	山口別院
14日(水)	講師/藤本弘信氏(下松組専明寺)	山口別院
14日(水)	門徒総代会研修会	山口別院
16日(金)	講師/筑波敬道氏(岩国組教法寺 青年布教使会副会長)	山口別院
16日(金)	講師/中村隆教氏(岩国組宗清寺)	山口別院
16日(金)	第1回 基礎から学ぶ同朋講座	山口別院
21日(水)	講師/長岡裕之氏(大津西組龍雲寺 元山口教区相談員)	山口別院
21日(水)	久保史生氏(山口教区教務所賛事)	山口別院
21日(水)	連研のための研究会	山口別院
21日(水)	講師/熊谷正信氏(岩国組西福寺 連研中央講師)	山口別院

11月

5日(木)	別院常例法座	山口別院
16日(月)	講師/岡村謙英氏(邦西組照蓮寺)	山口別院
16日(月)	第2回 基礎から学ぶ同朋講座	山口別院
16日(月)	講師/登尾唯信氏(宮崎教区松尾寺 同和教育振興会)	山口別院
16日(月)	川口泰司氏(部落解放同盟山口県連合会事務局長)	山口別院
25日(水)	帰敬式	山口別院
26日(木)	別院報恩講	山口別院
28日(土)	講師/生土昌行氏(北豊教区正山寺)	山口別院

12月

3日(木)	第2回 第10期浄土真宗勸学寮真宗講座	山口別院
4日(金)	別院常例法座	山口別院
5日(土)	講師/藤本唯信氏(下松組専明寺)	山口別院

敬 弔

生前のご遺徳を偲び、謹んで敬弔の意を表します

2020年6月〜2020年8月 (敬称略)

- 下関組 長泉寺 前住職 竹長 惇恵 (83) 6月2日
- 白滝組 専修寺 住職 森 芳麿 (60) 6月16日
- 下松組 順正寺 衆徒 金山 恭子 (85) 6月29日
- 柳井組 明照寺 前坊守 那須 清純 (98) 7月7日
- 宇部小野田組 教念寺 衆徒 山田 徹念 (90) 7月7日
- 下松組 浄念寺 坊守 清水 裕子 (70) 7月16日
- 豊浦西組 真蔵寺 住職 安本 義晏 (88) 7月29日
- 厚狭西組 永福寺 衆徒 金森 豊 (55) 8月3日

本願寺山口別院

『元旦会』のご案内

日時 1月5日(火)

午前10時から

場所 本願寺山口別院

講師 本願寺山口別院 輪番



新型コロナウイルス感染症により、世の中は10年進んだと言われている。便利になり、様々なことが簡素化され「ドライブスルー葬儀」のようなことも注目され始めてきました。み教えに遇う機会が失われていくなかで「自他共に心豊かに生きることのできる社会の実現に貢献する」ために、念仏者として何ができるかを考え、そしてそれを少しずつでも実践していかねければなりません。

本願寺山口別院・山口教区教務所
 〒七五四一〇〇三三 山口県山口市小郡花園町三番七号
 TEL〇八三(九七三)四一一一 FAX〇八三(九七三)四六三二